まちを支える人づくり　スペシャリストへの道
龍野北高校新聞
～地域と協働する、明るい活力のある学校～

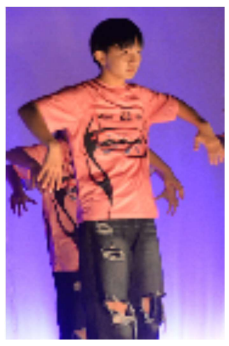
全日制課程

電気類型
中西　冴心

この３年間は僕の人生で一番充実したものでした。生活面では部活動です。僕は未経験ながらダンス部に所属していました。できないことだらけで悩むこともありましたが、その度仲間が助けてくれいつも僕を支えてくれました。そのおかげでステージでの披露もうまくいき多くの方から歓声や拍手をいただき、貴重な経験をすることが出来ました。

勉強面では、就職のことも考え電気類型を選択しました。実習を通し自分たちの手で回路を製作したり計測したりしました。教科書通りにいかないことも多くありましたが、なぜ誤差が生じるのか考え、考察することで次の実習に活かすことが出来ました。就職は多くの周りの方に面接練習をしてもらったり応援してもらったりして、内定をいただけました。

この３年間をここまで充実させることが出来たのは先生や親のおかげです。また、特に僕にとっては友達という存在が大きかったです。何をする時も近くに誰かがいてくれ元気をくれました。このことへの感謝を忘れずにこれからの進路先でも頑張っていきます。



情報類型（情報）
矢野　一雄

私が龍野北高校に入学したときは地元から遠い場所だったこともあり、友達がほぼいない状態からのスタートでした。ですが、仲の良い友達が自然と増え、毎日楽しく学校に通うことができました。

私は高校生活で部活動に最も力を入れました。入部するまでは全くできなかったタイピングも毎日練習を重ね、今ではスラスラと文字の入力ができるようになりました。部活動で培ったタイピングのスキルは将来どこかで役立つと信じています。

３年生になってからの課題研究では高等学校ＤＸ加速化推進事業の一環としてＶＲコンテンツの制作を行いました。新しく学校に導入された機器に触れ、これから発展していくであろうメタバースの分野について様々なことを学ぶことができました。

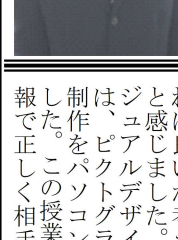
高校生活がもう少しで終わってしまうという実感が湧きません。あっという間の３年間でしたが、振り返ってみると毎日面白い出来事があり、充実した高校生活だったと思います。

情報類型（商業）
冨田　大馳

私はこの高校生活、初めは正直な話怖いなと思っていました。周りは知らない人ばかりで不安な気持ちでいっぱいでしたが、空気感にも慣れ、新たな友人も増え、新たなことに挑戦することが増えました。その中でも最も熱心に取り組んだことは検定でした。

私は、商業系に所属し、様々な検定に何度も挑戦しました。授業では、主に簿記では財務会計や原価計算、ソフトウェアの時間で情報処理の検定の内容に取り組み、検定が近づくと放課後に残り、わからないところを先生に質問しながら勉強をしたり、家でも遅くまで勉強をしたりしました。このように出来る時間は勉強し、検定に挑戦しましたが、その努力が実らず落ちてしまうこともありました。ですが、落ちてしまったからとあきらめるのではなく、もう一度勉強をしなおし、再度挑戦を行いました。

この検定への挑戦を通じてあきらめないということの大切さを今一度確認することが出来ました。この先辛くなることが多くなると思いますが、この３年間のことを思い出し、心折れることなく様々なことに挑戦していきたいと思います。



介護福祉類型
中務　結葉

１年生の頃から年に２回、実習に行かせていただき、慣れない環境や介護に何度も頭を悩ませ、嫌になることもたくさんありました。終末期を迎える利用者さんもいらっしゃり、不安と戸惑いでどう接したら良いのかもわからない状態でした。ですが、利用者さんの死は恐れるようなものではなく、静かに眠っているような様子でした。そこから沈んでしまうような気持ちになるのではなく、その経験があったからこそ、一人ひとりの利用者さんと向き合い、もし明日、目の前の利用者さんが突然最後を迎えられたとしても、利用者さんにとって幸せな人生を迎えることができるように丁寧な介助、心強い支援、温かいコミュニケーションをすることが大切であるということを改めて学ぶことが出来ました。

私は、この３年間、福祉の学びや実習、実技、行事を通じて専門的な知識だけではなく思いやりや責任感、人としての礼儀、思考力を身につけることが出来ました。

医療福祉類型
岡本　奈々花

私は、この３年間を通して、様々な学びや数えきれないほどの思い出を得ることが出来ました。入学当初は、同じクラスに知っている人がいなかったこともあり、不安な日々が続いていました。

しかし、クラスメイトの皆は勿論、総合福祉科の先輩方や先生方が明るく接してくださったことで、龍北での生活が有意義で充実したものになりました。

私は２年生から医療福祉類型に進み、勉学に励みました。医療福祉類型は主に進学に向けて一般教科の勉強を中心に行うもので、少人数制での授業が多くありました。最初は、この類型でうまくやっていけるのか心配な部分もありましたが、少人数だからこそ同じ類型のメンバーとの仲も深まり、さらに学校生活が楽しいものになったと思います。

これから私は、作業療法士になるために専門学校へ進学して学習していきます。作業療法士という夢は、この龍野北高校に入学して見つけたものなので、全力で頑張りたいと思います。

都市計画類型
長峰　翼

自分が高校生活で一番頑張ったことは部活動です。その中でも２年の夏大で打ったサヨナラタイムリーは今でも鮮明に覚えています。２年の秋から本格的にピッチャーを始めてうまくいかないことばかりでした。このままではいけないと思い部活だけでなく、知り合いの方にピッチングを教わりました。その結果、練習試合などで徐々にうまくいくこともも増えていき、夏大では後悔なく、自分の投げたいボールを投げることが出来ました。１、２、３年すべて監督が変わり戸惑いもあったけど、引退する日まで楽しく野球をすることが出来ました。色々大変だったけど最後まで全員で野球できてよかったと思います。

勉強面では都市計画類型を選び、測量や施工管理など土木についての一般的な知識を学びました。２年からは授業の中で２級土木施工管理技士一次試験に向けての勉強が始まりました。特に苦手だった専門土木を毎日こつこつ勉強したことで無事合格することが出来ました。就職してからも高校生活で勉強してきたことや経験してきたことを活かして、これからも頑張っていきたいです。

ご卒業おめでとうございます！

建築類型
西尾　純大

僕は高校生活３年間で勉強と部活を頑張りました。高校では初めて建築について学びました。聞いたことがない言葉ばかりだったり難しかったけど、勉強していくと建築について学ぶことが楽しくなりました。３年間建築について学び、知識もつきました。２級建築施工管理技士という国家資格に向けて、合格出来るように授業や家で過去問を解いたり毎日勉強を頑張りました。その結果合格することが出来て嬉しかったし、勉強を頑張って良かったと思いました。

部活動では初心者でバレーボール部に入り、最初は何も出来なかったけど、毎日放課後練習を欠かさずやり遂げたことによってレギュラーになることが出来ました。試合でも活躍出来るようになり、西西播大会では3位になれたので嬉しかったです。バレーボール部に入って良かったです。

４月から社会人になります。最初はしんどいこともあると思うけど、一生懸命頑張っていこうと思います。

プロダクトデザイン
中谷　真子

私の高校生活は、どれも初めてのことばかりで飽きることのない日々でした。

様々なデザインを学ぶ授業の中で、インテリアの授業では理想のワンルームを制作しました。ミニチュア家具を作るのはとても時間がかかりましたが、自分の理想の形を作ることが出来ました。課題研究では皮革を選択しました。皮革にも様々な種類があり、それぞれの特徴が活かせるようなデザインになるよう制作しました。実際に作った衣装はファッションショーでも披露することができとても嬉しかったです。

常に作品を作り続けた３年間で一番の集大成はファッションショーです。服作りとして、そして総リーダーとして3年間ファッションショーに取り組むことが出来て達成感でいっぱいでした。ファッションショーを通じて友人、先生だけではなくとても多くの地域の方とも交流することができ、改めて「感謝の気持ち」をより深く感じることが出来ました。

アートビジュアルデザイン
原田　志琉

僕はこの３年間で多くのことに挑戦してきました。普段の授業からファッションショー、町ぢゅう美術館など小中学校では体験することの出来ないことを多くしました。

ファッションショーでは、必ず他の人たちと協力して作業をする必要があります。そういった時にいかに正確に情報を伝えるか、締め切りまでに間に合わせるにはどうやって作業を進めれば良いか考えることが重要だと感じました。また、アートビジュアルデザイン類型の授業では、ピクトグラムやポスターの制作をパソコンを使って行いました。この授業では、少ない情報で正しく相手に伝えることが重要になります。制作しているうちに複雑な情報になっていたり、伝わりにくくなっていたりすることも多くありましたが、試行錯誤して納得のいくものが出来た時はとても達成感がありました。

総合デザイン科でたくさんの経験をして成長する事ができた３年間でした。この経験を将来に活かしていきたいと思います。

定時制課程

看護科
木南　花音

看護科のあるこの学校に入学したとき、きれいな校舎と夢に近づける嬉しさを胸に抱いていました。しかし同時に、友達が出来るかという不安もありました。それでも、同じ看護という夢を目指す仲間とはすぐに打ち解けることができ、勉強や実習を共に乗り越えてきたことで、絆が生まれました。

課題や実習で眠れない日々もありましたが、仲間と励まし合いながら前に進むことが出来ました。担任の先生は３年間で変わりましたが、それぞれの先生からたくさんのことを教えていただきました。また、周りの先生方にも支えられ、無事に卒業を迎えることが出来たことに感謝しています。

文化祭では模擬店の売上が１位になるなど、学業以外でも仲間と力を合わせた経験がたくさんあります。

３年間は決して楽な道ではありませんでしたが、仲間や先生方と過ごした日々が、私たちにとってかけがえのない思い出となりました。これからもこの経験を胸に、夢に向かって進んでいきたいと思います。

三修制
長谷川　弘

僕はこの学校に来てたくさんの学びを得ることができました。その中の一つ、部活動での出来事を紹介させてもらいます。

入部前は、定時制の部活動はハードじゃなさそうだし軽く運動できればちょうどいいなというぐらいで考えていました。しかし、実際蓋を開けてみれば、バイト、勉強、部活のすべてをこなしていくことは難しいことだと思い知らされ、何度も辞めたい辛いと思うようになりました。

２年生のときに転機が訪れました。それは部活動の先輩の卒業です。部活を辞めたいと思っていた僕の目の前で、先輩は最後に顧問の先生への感謝の気持ちと「部活動を続けて良かった」といった話を涙ながらに話してくれました。その姿を見て、自分も最後はこんな気持ちで終わりたいと思い、もう一度部活を続けると決意しました。そして、３年生最後の大会では全国大会２位という自分でも信じられない結果を残すことができました。先生方は僕が頑張って続けてきたからだと言ってくれますが、僕は周りの支えのおかげだったなと強く思います。辛かった時もあったけど、部活を続けてきてよかったと思います。この３年間は、先生や親、たくさんの仲間のおかげで成長できたと思います。龍野北定時制に入学できて幸せでした。

まだまだ小さい人間なので、少しでもでかい人間になれるようこれから頑張っていきたいと思います！

四修制
中井　美咲

私は正直、この学校に四年間通い続けられるとは思っていませんでした。入学当初はクラスメイトと仲良くなれるか不安でしたが、何とか平穏な一年生を過ごしました。二年生になり後輩ができて、休みの日に遊びに行くほど仲良くなれました。三年生になり、修学旅行で沖縄に行きました。女子一人の参加でしたが、クラスメイトが率先して一緒に行動してくれたり、一緒に写真を撮ったり、とても良い思い出ができました。

四年生になってからは、クラスに四人しかいない中、体育祭ではたくさん練習したダンスがみんなに楽しんでもらえ、龍夜祭ではハンドベルを披露し、練習時間が少なかった割には良い出来栄えだったと思います。

今はまだまだ卒業ということに実感は湧いていません。一年一年はとても長く感じていたけど、四年間を振り返ると長いようで短い高校生活でした。

四月からは社会人になるため、生活リズムも大きく変わります。不安だった高校生活四年間をやり遂げることができたので、社会人になっても目標を立ててやり遂げられるよう頑張っていきます。